

川崎市子ども・若者応援基金

令和6年度の実績紹介



ご寄附
ありがとう
ございます

令和6年度は、
多くの個人、企業、団体の応援・後押しにより、
72,534,742円を積み立てることができました。
(基金残高(令和8年3月1日時点) 3億2799万7830円)
※積立額には、川崎市競輪事業及び神奈川県川崎競馬組合競馬事業の収益も含まれます。

応援・後押しを受けた子どもたちの声をぜひ御覧ください。

未来につながる、子ども・若者の応援・後押し

置かれた環境によって
学習機会に差があるのは、
何か違う気がする。



色々とチャレンジして、
成功も失敗も、
体験したらいいと思う。



地域社会全体で
子どもの健やかな育ちを
支えよう。



機会格差の解消

挑戦の後押し

地域で支える

夢や目標を持つ川崎の子ども・若者の応援

令和6年度は「機会格差をなくす取組」と「子ども・若者の挑戦の後押し」、「子どもの健やかな育ちを地域全体で支える取組」の3つの柱で7つの応援を行い、合計74,157,419円を活用しました。



機会格差をなくす取組

① 社会的養護奨学給付金

令和6年度実績 決算額：17,820,000円 事業対象者：31人



里親家庭や児童養護施設等の退所者等を対象に、大学等進学時の奨学金や資格取得に要する経費に対し、給付金を支給しました。

| | |
|----------|--|
| 大学等進学奨学金 | 大学等の学資に充てるための給付金 (国公立大学等：月額3万円、私立大学等：月額5万円) |
| 資格取得給付金 | 一般教育訓練講座の受講経費に対する給付金 (対象講座の修了に必要な入学料、受講料、教材費) |

自分の叶えたい将来のためになくてはならないお金です。
本当にありがたいと思っています。ありがとうございます。
(大学4年生)

このたびは社会的養護奨学給付金をいただき、本当にありがとうございます。経済的な負担が軽くなり、安心して学業に専念できています。教科書や実習用品の購入にも活用でき、とても助かりました。支援してくださる方々のおかげで、将来の夢に向かって頑張れます。この支援を無駄にしないよう、感謝の気持ちを忘れず努力を続けます。(専門学校2年生)

本当に助かっています。おかげさまで社会進出後の奨学金の返還の心配が無く、集中して大学の勉強に取り組むことができている。ありがとうございます。
(大学2年生)

この制度を利用したおかげで、学費の心配をせずに安心して進学することができました。(社会人1年目)



機会格差をなくす取組

② 学習支援費

令和6年度実績 決算額：19,807,048円 事業対象者：64人



里親家庭や児童養護施設等の児童に対して、児童の個性に応じた学習支援を行うための費用を支給しました。

| | |
|----------------|--------------------------------------|
| 地域人材・NPO法人等を活用 | 団体実施の学習支援を利用する場合や施設等に招いて学習支援を行う場合の経費 |
| 教材等を活用 | 里親や施設で、市販の教材等を活用して学習支援を行う場合の経費 |
| 塾及び家庭教師 | 塾や家庭教師を利用する場合の経費 |

このたびは、学習支援費を給付していただき、誠にありがとうございます。皆さまの温かいご支援のおかげで、安心して学習に取り組むことができます。いただいた支援金は、教科書や参考書の購入、検定試験の受験料などに大切にに使わせていただいています。経済的な負担が軽減されたことで、勉強に集中し、自分の将来について真剣に考える時間を持つことができました。支援してくださる方々のお気持ちを励みに、今後も努力を続け、夢の実現に向けて精一杯頑張っていきます。将来は、私も誰かを支える立場になれるよう成長したいと考えています。改めて、温かいご支援に心より感謝申し上げます。

(高校1年生)

川崎市の学習支援費をいただき、本当にありがとうございました。おかげで経済的な不安が減り、前向きに学ぶことができました。(専門学校1年生)

学校の授業で理解できないところを補うために利用しています。お陰で、自分から学ぼうとする気持ちが少しずつできました。苦手なことを少しずつ克服していくことにも役立っています。ありがとうございます。(小学3年生)

川崎市学習支援費があって助かりました。

(大学1年生)



③ Stanford e-Kawasaki

令和6年度実績 決算額：12,756,800円 事業対象者：20人（市立川崎・橘高校生徒）



スタンフォード大学の国際異文化教育プログラム（SPICE）と連携し、「多様性」と「アントレプレナーシップ（起業家精神）」をテーマに、高校生向けのプログラム「Stanford e-Kawasaki」を開講しました。約半年間、事前課題の提出、ゲストスピーカーによる講演、グループディスカッションを繰り返し、最後は自ら選んだ研究テーマのプレゼンテーションを行いました。なお、プログラムは、全て英語で実施しています。

今回のプログラムで私は論理的に英語を組み立て、自分の考えを他人と共有することができました。他人と意見を交換し合うことによって色々な人の視点を得ることができました。今回のプログラムの経験を通して、これからも英語を活用して、色々な国の人々と意見交換をしていきたいと思いました。（高校2年生）

このプログラムに参加して、たくさんの生徒と意見を交わす中で物事を多角的にみる力がついたと感じます。また、海外の考え方や問題点を知ることで、改めて日本の文化やあり方について深く考え直すきっかけにもなりました。自分の意見を英語で伝えることの難しさと同時に楽しさを実感できた、非常に貴重な経験でした。（高校2年生）

話す、聞くという即時的な英語への苦手意識が払拭されました。また、国際的な舞台で成功されているゲストスピーカーの方々のお話を直接伺うことが出来たのは、本当に忘れられない貴重な経験になりました。（高校2年生）

プログラム当初は不安でいっぱいでしたが、いざ始めてみるとほかの参加者との意見交流や講師の方のプレゼンテーションなどで得られるものがたくさんあり、参加して本当に良かったと思います。今までの自分になかった考え方を身につけるとてもいい機会となりました。（高校2年生）

私は今回のプログラムで英語を使って他の人とディスカッションを行ったり講義を聞くなどをするのが初めてで緊張しましたが、回を重ねるたびにだんだんと英語も聞き取れるようになり、楽しく行うことができました。特に、着眼したことのない社会テーマを取り扱いながら実際に専門の方の話を聞いて仲間と意見を交換するのが楽しかったです。（高校2年生）

Stanford e-Kawasakiを通して多様性や起業家精神を学び、とても良い経験になりました。学校で学べないことを学べたり、新しい英語も学べたので参加してよかったです。（高校1年生）



演台に立つのプレゼンテーション



演台に立つのプレゼンテーション



副市長からのメッセージ



修了証の授与

私は、Stanford e-kawasaki プログラムによって、より海外に関心を深めることができましたと思います。受講前は、英語や海外に関して「かっこいい」や「受験科目」など、漠然とした印象しか抱いていませんでしたが、実践的なテーマについて他校の生徒と話し合うことで、国際情勢に関心を持つことができました。これからの社会を生きる上で、自分の糧にすることができたと思います。(高校2年生)

完全英語onlyで授業を受けたり、話し合いをしたりした経験は今までほとんどなかったので、とても貴重な経験になりました。授業内容も教養が深まるものばかりで興味深かったです。一緒にプログラムを受講したみんなの英語能力がとても高く、刺激を受け、さらなる英語学習へのモチベーションになりました。(高校2年生)

アメリカと日本の違いを知ることで国際感覚を学ぶことができました。始めはプログラムをすべて英語で行うことに不安を感じていましたが、始まってしまえば英語でコミュニケーションをとることをとても楽しんでいました。とても価値ある時間を過ごせるプログラムだったと思います。(高校2年生)

正直、楽しかったという言葉に尽きます！グローバルな課題における新たな視点を得る機会にもなり、また、英語を通じた自己表現力をパワーアップすることが出来ました。今後もこの経験を糧に頑張っていきたいです。(高校2年生)

このプログラムに参加して、外国語を通して人とコミュニケーションをとることの難しさを痛感しました。自分の考えていることをうまく表現しようと常にもがいていました。また、自分の意見を伝えるために頑張る中で、うまい表現を用いることよりもまずは伝える気持ちを持つということが大事だということがわかりました。(高校1年生)

私はStanford e-Kawasakiに参加して人生が変わったと思います。講義を通じて多くの新しい経験を得ることができました。ゲストスピーカーのお話を聞くことや様々な資料を読むこと、自分の考えを書くこと、ディベートなどを通じて得られた経験は宝物です。様々な視点で考える力が見についたと思います。また、ファイナルプロジェクトでは書物やゲストスピーカーのお話などをベースにし、「自分の足で歩き」、「自分の目で見て」、「自分の耳で聞く」というフィールドワークの大切さを学ぶことができました。(高校1年生)

Stanford e-Kawasakiでは教科書からは学ぶことのできないゲストスピーカーの体験を聞くことができました。自身の経験に基づいた講義はどれも新鮮で興味深かった。英語4技能全てを鍛えることができ、自分自身の成長も感じることができた。(高校2年生)

私はもともと英語力を上げたいと思ってStanford e-Kawasakiを受講しました。周りの人たちの英語力がとても高くてついていくことができるか心配でしたが、たくさんの人のサポートを受けて質問なども積極的にすることができて、自分が知らなかったことを新たに学ぶことができました。毎回様々なトピックに関して普段は係わることができないような人たちのお話を聞くことができ、貴重な経験になりました。このプログラムを通して前よりも自信をもって英語で話せるようになりました。(高校2年生)

起業家精神と多様性をメインに、英語でのレクチャー、ディスカッション、プレゼンを通して学びました。スタンフォード大学の博士など世界の最前線で活躍している人との交流を経て、英語力だけでなくリーダーシップ、発言力、橋梁を深めることができました。僕はこの活動を通して、さらに視野を広げ、国際的に考えて、学んだことを世界の人々に共有したい。(高校2年生)

※学年は受講時のものです。



閉講式での集合写真



4 かわさきジュニアベンチャースクール

令和6年度実績 決算額：5,008,000円 事業対象者：延べ62人（小学5年生～中学生）



次世代を担う若い人たちに、失敗を恐れずに新しいことに挑戦できる能力を身につけてもらうための講座として「かわさきジュニアベンチャースクール」を開催しました。全8回の実践講座と市内企業による体験講座で構成され、実践講座では、社会や暮らしを良くするアイデアを参加者自身に提案していただき、専門家の助言を得ながら具体的な形にするとともに、体験講座では、各企業の持つ技術や最先端の研究を通じて、社会課題の解決について理解を深めました。

起業家のかたのお話をきくことができ勉強になりました。タクトピアの皆さんもアイデアが思いつかなかったとき、考え方を教えてくれたり、アドバイスをたくさんもらえてうまく進めることができました。

チームも意見がバラバラで目的もなかなか決まらず、という所から形にするというのは学校では出来ない体験でした。すごく勉強になりました。

考え方や、発表のやり方など友達と話し合うことができちょっとしたことだけ変化することが出来ました。

身の回りにはペルソナが沢山いて今回のプログラムでは8個上がったと思いますが、周りの人に聞いてみたらもったくさんの「困った」があると思いました。それを解決するのに、大掛かりなことをしなくても、まず自分たちができることから始めてみるのが大切だと思いました。

自分と意見が違うからダメなんじゃなく、分かり合える様にする事が重要だと思いました。

危機的な状況でも、チームで協力すれば、どんなことでもできるということをずっと思っていた。

「ペルソナ」ということを知らなかったのですが、この研修のあとには、ペルソナを考えてから行動するということがわかりました。誰のためのどんな計画なのかが大事ということがわかりました。

ゴールが分からないようなものであっても、計画を立てて、それを修正していくという経験が自信になりました。



講義を受けている様子



閉会時での集合写真



5 Kawasaki Quantum Summer Camp

令和6年度実績 決算額：3,997,840円 事業対象者：延べ23人（高校生）



次世代コンピューターとして注目される量子コンピューティング分野を担う「量子ネイティブ人材」の育成を目的に、東京大学および日本IBMと連携した「Kawasaki Quantum Summer Camp（量子サマーキャンプ）」を開催しました。全4日間のプログラムでは、量子プログラミングやハードウェア技術の基礎を学ぶ講義に加え、新川崎・創造のもりに設置された実機の見学を実施しました。最終日には量子技術の応用をテーマにグループワークと発表を行い、量子コンピューターへの理解を深めました。

量子コンピュータの内容は非常に難しく感じたが、キャンプ自体は楽しかった。専門的に学ぶには至らないかもしれないが、技術の可能性を感じ、進路に悩んでいた中でキャリア講義が参考になり、選択肢の一つとして考えるきっかけになった。（高校1年生）

量子コンピュータの内容は難しかったが、実際に触れることができたのは貴重な経験だった。ロケットの軌道計算など、未来に必要な技術としての可能性を感じた。新しいシステムやモノを作ることが好きだと気づき、進路選択にも影響がありそうだ。（高校1年生）

量子技術は非常に難しく感じたが、最先端の研究には興味がある。グループワークは大変だったが楽しく、講義はもう少し分かりやすくできると感じた。量子と超伝導量子の違いやエラー訂正など、深いテーマに触れられたことが印象的だった。（高校1年生）

量子コンピュータは非常に高度な技術で、プログラミングなどの活用が難しいと感じた。自分の興味とは少しズレているが、様々なことを知る機会になった。技術の便利さと難しさの両面を実感した。（高校2年生）

最初は何も分からなかったが、最終的には多くを学び理解できた。量子コンピュータの活用事例をもっと知りたい。難しかったからこそ、さらに調べて理解したいという意欲が湧いた。将来の職業選択の幅が広がると感じた。（高校1年生）

内容は少し難しかったが、量子コンピュータの強みや可能性を感じることができた。経済分野を志望しているが、今回の学習を通じて経済との関連も見え、量子技術への理解が進んだ。しっかり理解できれば楽しい学問だと感じた。（高校2年生）

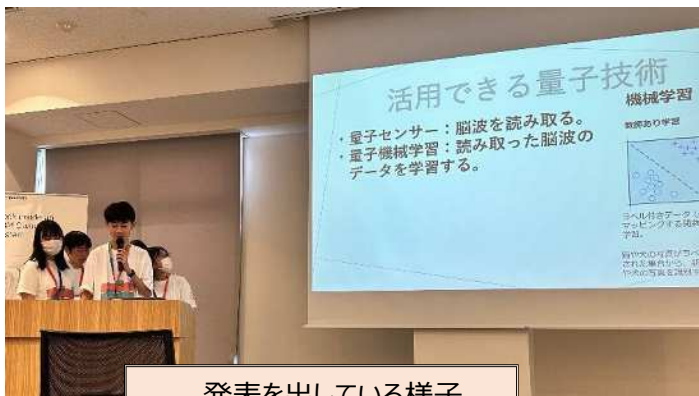
難しい部分もあったが、他校の生徒との交流が楽しく、普段は得られない経験ができた。目指している大学の先輩の話も聞いて、進路への参考になった。量子コンピュータと従来の技術の組み合わせによる未知の発見に期待を持った。（高校1年生）

情報系が苦手な不安だったが、質問を重ねることで理解が深まり、量子の面白さに気づいた。誤り訂正やハードウェアの説明が難しかったが、大学院生との交流を通じて学ぶ楽しさを実感。（高校2年生）

短期間で難解な内容だったが、研究者との討論を通じて理解が進んだ。量子の世界を紐解くには量子コンピュータが最適だと感じ、進路の判断材料にもなった。もっと長期間で学べれば理解が深まると感じた。今後もこのようなイベントを継続してほしい。（高校2年生）

実習を含んだ講義が分かりやすく、初めての分野でも楽しめた。進路選択の考え方を知ることができ、量子コンピュータの技術発展に期待を持った。今後の学びに活かせる内容だった。（高校2年生）

※学年は受講時のものです。



発表を出している様子



閉会時での集合写真



⑥ プログラミング×AI×ドローン

令和6年度実績 決算額：2,998,680円 事業対象者：40人（市立総合科学高校生徒）



プログラミング言語を利用したドローンの自動飛行やAI物体検出プログラムを学び、プログラムで物体が動き、コンピュータが画像を認識できる仕組みを学習することを通じて、今後の社会課題に実践的に取り組むことができるノウハウやきっかけを習得することを目的として、本プログラムを実施した。

普段、自分が学校で行っている、コンピュータ内で完結するようなプログラミングとは違い、ドローンのプログラミングは現実の物体の動作を制御するというものであるため、ドローンそのものの性能を考えてプログラムを組んだり、それでうまく飛んだ時の達成感だったり、新鮮な間隔で楽しかったです。（高校2年生）

ドローンとAIの将来性について理解することができました。AIもドローンもこれから発展していくと思うので、自分でもリサーチしていこうと思います。（高校2年生）

ドローンやAI以外にもgithubといったアプリについて知れてよかったです。（高校2年生）

今回の講義で苦手であるPythonのプログラミングを少し克服できました。また、ドローンを動かしたり貴重な経験ができてよかったです。（高校2年生）

自分のあまり興味の無い分野でしたが、AIとドローンで物体を検知することで映像として判断できることが以外にも簡単にでき、楽しいと感じ、少し興味が湧きました。（高校2年生）

今までの実習は課題に基づいてプログラムを組んでいたが自分たちで用途を考えて作るのが新鮮でよかった。また、人と関わりながらプログラムを組む大変さが分かった。（高校2年生）

高校のうちに大学の先生にお越しいただいて、講座を受けられる機会はめったにないと思うのでとても貴重な機会になったなと感じました。今回の経験を何かにつなげられたらいいなと思います。（高校2年生）

貴重な体験をありがとうございました。今回学ばせていただいたドローンのこと、AIの事をしっかりと覚えておくことで今後に生かしていきたいと思います。この度は本当にお世話になりました。（高校2年生）

私にとって、技術に関して視野が広がる講座でした。ドローン×AIというテーマの講座を通して、技術がによりどのように社会が発展していくのか、具体的に想像することができました。私自身の問題ではありますが、もっと主体的に動くことができたなら、より有益なものとなっていたと感じ、こういった貴重な機会を大切にしていくなかで痛感しました。（高校2年生）

普段個人でドローンに触る機会も基本的にないため面白い経験をさせてもらいました。githubを使ったりなどは授業などで行わず、趣味で触った人が数人いるくらいであったためそういった実用的なところや将来的に必要なものが少し学べたのではないかと思います。（高校2年生）

ロボットの操作以外した事のない私にできるのか不安だったけど、思ったよりも簡単にドローンを動かせてよかった。（高校2年生）

※学年は受講時のものです。



最終発表会の様子



閉会時での集合写真



子どもの健やかな育ちを地域全体で支える取組

7 かわさきTEKTEK

令和6年度実績 決算額：11,769,051円

事業対象校：117校（小学校+小学部のある特別支援学校）



かわさきTEKTEKとは、市民の健康意識を高め、さらに、その運動の成果を子ども達の学校生活に還元し、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を目指したウォーキングアプリです。参加者は、歩いてアプリ内で貯めたポイントを応援したい川崎市立の小学校※（特別支援学校を含む）から選んで寄附します。学校への応援金に子ども・若者応援基金を活用しております。※令和7年度からは中学校もポイント寄附の対象にしております。

教室でみんなで遊べるカードゲームを購入しました！
木製の日本地図パズルも国際局室に置きました！
みんなでなかよく使います。（殿町小学校）

届いたドッジビーは、運動委員会を中心としてリフレ（休み時間）に遊んでいます。また、全クラスに一つずつ配付されることも決まりました。これからさらにたくさん遊びたいと思います。（平間小学校）

雨の日に遊べるカードゲームが届きました。
とても楽しみにしていたので、たくさんの友達とUNOで盛り上がりたいです。（井田小学校）

SDGsの3番目（すべての人に健康と福祉を）を念頭に、誰もが遊べる「モルック」と「ポッチャ」を購入しました。
学年を超えて、みんなで楽しんでいます。
（犬蔵小学校）

代表委員会で話し合っただけで決めた通り、暑さや雨天など、校庭で遊べない時に教室で遊ぶゲームを購入することができました。ありがとうございました。各クラスに1セットずつ配ることができました。（長沢小学校）

御幸小学校では、寄付金で図書室の本を購入しました。その数は、なんと130冊！図書委員会が全校児童に購入したい本のアンケートをとったり、リクエストがあった本を選んでくれたりしたので、みんなが読みたい本がたくさん増えました。図書ボランティアさんや学校司書さんが作ってくれた「かわさきTEKTEK」コーナーは大人気で、図書室に来る人の数も増えたように感じます。ボランティアさんが読み聞かせや紙芝居などを行っている御幸小学校ですが、もっとも本が大好きな学校になると思います。応援、本当にありがとうございました。
（御幸小学校）

放課後に遊ぶボール等の遊び道具をいただきました。いろいろな遊びができてうれしいです。
（下作延小学校）

テクテクポイントでいただいたドッジビーが届きました。各クラスにドッジビーがもらえたので、これを使ってもっとも友達と仲良くなれそうです。どうもありがとうございました。
（三田小学校）

いただいた寄付金で絵本を購入しました。机からはみ出すほどの大きな絵本は、読み聞かせにもぴったり。大好きなお話で、みんな笑顔になりました。ありがとうございました。（中央支援学校）



日本地図パズル・カードゲームの写真



買ったボールで遊んでいる写真

100+2歳のまち

「どうぞ」のことばから心がひらくとき、
“ちがい”は壁ではなく、思いやりへと変わっていく。

「どうぞ」のきもちは人から人へとつながって、
やさしい明日をまちいっぱいに広げていく。

そんな連鎖のなかで。
まるで2歳のこどものように、すくすくと未来が育っていく。

可能性のまち 川崎市。100と2歳。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市子ども・若者応援基金 寄附のご案内



寄附のお手続き

クレジットカードによる納付

市内在住の方、市外在住で「川崎市子ども・若者応援基金」に使い道を希望される方は、川崎市ホームページ「川崎市ふるさと納税」からお手続きください。
※ホームページ内の「クレジットカードによる納付（外部リンク）」よりお進みください。なお、返品をご希望の場合、詳細な使い道の指定はできません。



クレジットカード以外による納付

●個人の方

「川崎市ふるさと納税申出書」に必要事項を記入し、選択メニューの「頑張る子ども・若者を応援する互助のまちづくりの推進」にチェックをして郵送、ファックスまたはEメールで送付してください。

●企業やその他団体の方

子ども未来局総務部企画課（044-200-1726）へご連絡ください。

→ 納付書がお手元に届きましたら、川崎市が指定する金融機関でお振り込みください。

指定金融機関一覧

横浜銀行、りそな銀行、みずほ銀行、三菱UFJ銀行、川崎信用金庫、三井住友銀行、神奈川県銀行、静岡中央銀行、セレサ川崎農業協同組合、中央労働金庫、城南信用金庫、神奈川県医師信用組合、横浜幸銀信用組合（川崎支店のみ）、世田谷信用金庫、東日本銀行、芝信用金庫、さわやか信用金庫、きらぼし銀行、横浜信用金庫、ハナ信用組合、静岡銀行、群馬銀行、ゆうちょ銀行

※ ゆうちょ銀行での収納は、1都7県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、栃木、群馬、山梨）に所在する店舗及び郵便局に限ります。



寄附金控除について

川崎市など地方自治体に対する寄附を行った場合には、その支出した寄附金のうち2千円を超える額について、個人住民税及び所得税の寄附金控除の適用を受けることができます。後日、確定申告の際に必要なとなりますので、受領書は大切に保管してください。

※ 寄附金控除を受けるには、領収書等の寄附金の受領を証明する書類に添えて、最寄りの税務署で所得税の確定申告等の手続きをしていただく必要があります。

詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市子ども・若者応援基金

検索



問合せ先：川崎市子ども未来局総務部企画課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話：044-200-1726 メール：45kikaku@city.kawasaki.jp

令和8年3月発行